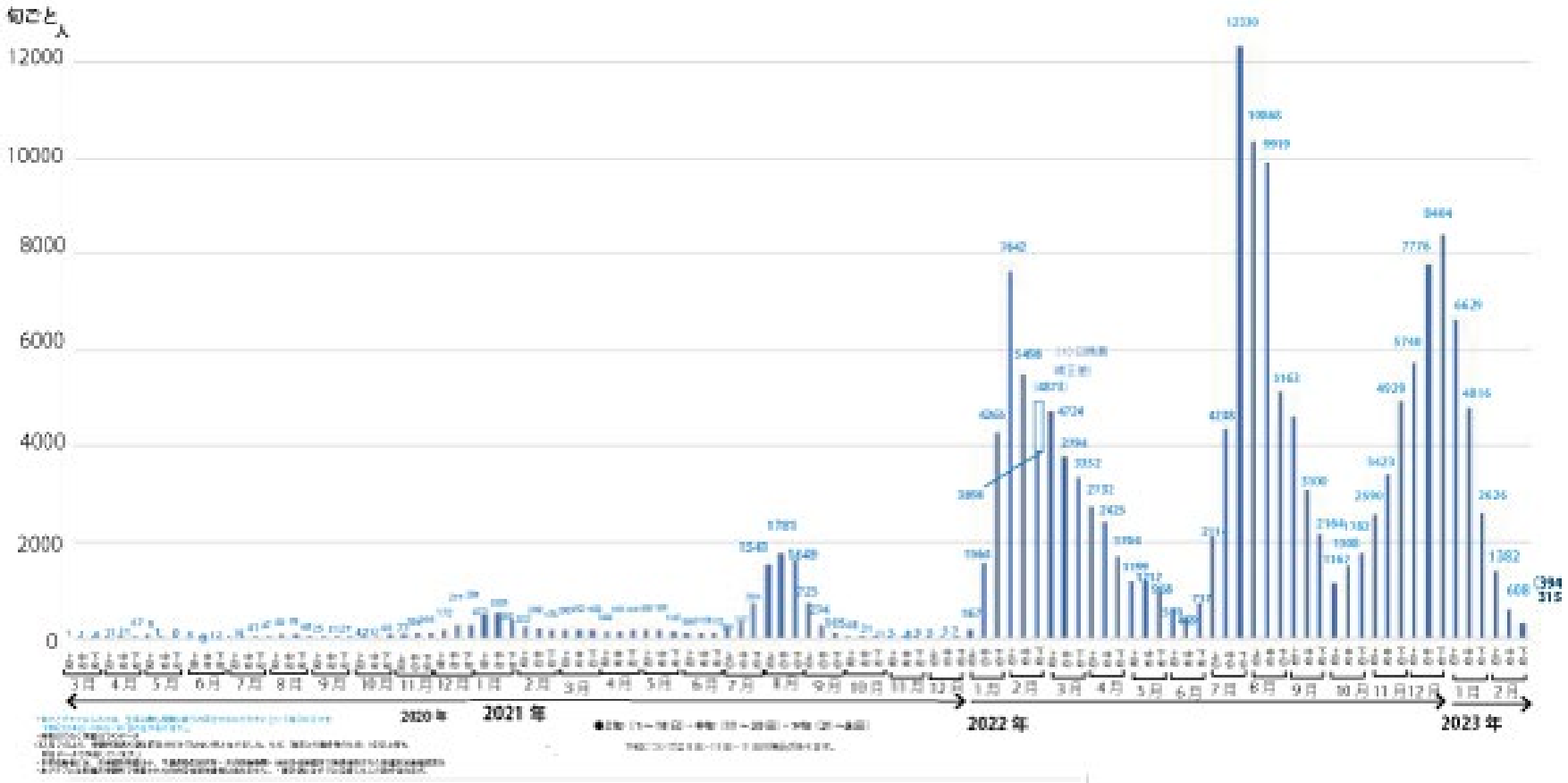
2023年3月4日（土）

朝倉幹晴、船橋市議会報告会
＆ご意見をお伺いする会

市内、新型コロナウイルス状況①

船橋市における旬ごと新型コロナウイルス感染症患者（陽性者）発生数
【2020 年 3 月～ 2023 年 2 月】



3月１日（水）週報

令和5年3月1日

議 員 各 位

新型コロナウイルス感染症に係る相談件数と行政検査実施結果
及び市内確保病床数に対する使用率等について（報告）
（2月20日（月）～2月26日（日）分　3月1日10時時点）

1. 船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター及び船橋市ワクチン接種・相談特設コールセンターへの件数

相談センター	ワクチンコールセンター
221件	822件

2. 行政検査実施結果

保健所実施分		
PCR 検査	検査人数（うち陽性者数）	8人（0人）
契約医療機関実施分		
PCR 検査	検査人数（うち陽性者数）	1，217人（51人）
抗原定性検査	検査人数（うち陽性者数）	3，367人（182人）
抗原定量検査	検査人数（うち陽性者数）	0人（0人）
合計	検査人数（うち陽性者数）	4，584人（233人）
総合計		
	検査人数（うち陽性者数）	4，592人（233人）

なお、千葉県衛生研究所にて PCR 検査を行った人数はこのうち0人になります。
契約医療機関実施分については、医療機関からの報告をもとにしています。

3. 変異株PCR検査件数・陽性判別件数・ゲノム解析結果

	オミクロン株				
	BA.2.12.1	BA.2.75、BA.2.24 または XBB	BA.4 または BA.5	BQ.1.1	合計
変異株 PCR 検査	0人	1人	0人		1人
ゲノム解析	0人	1人	2人	0人	3人

※令和 4 年 7 月 26 日より変異株PCR検査はオミクロン株の「BA.1 系統または BA.2 系統」、「BA.2.12.1 系統」「BA.4 系統または BA.5 系統」に加え、新たに「BA.2.75 系統または BA.2.24 系統」が推定可能になりました。
※「XBB 系統」は、「BA.2.75 系統または BA.2.24 系統」に対応した変異株 PCR 検査で推定可能です。
※「BQ.1.1 系統」に対応した変異株 PCR 検査は行っておりません。ゲノム解析で確定が可能です。
ゲノム解析を行う検体は流行地域からの入国者やクラスター事案を優先的に解析しております。

4. 市内確保病床数に対する使用率（3月1日10時時点　速報値）

確保病床数	使用病床数	病床使用率
107床（フェーズ1）	18床	16．8%

※千葉県の病床計画におけるフェーズの移行及び一部病院の病床数の変更がありました。
病床確保は千葉県の事業となっており、船橋市民が市外の病床を使用する場合や他市の市民が市内の病床を使用する場合があります。この数値は千葉県全体の使用率ではなく、市内の新型コロナウイルス感染症療養用の病床として確保した病床に対する使用率であり、あくまで目安となります。

5. 現在の療養者数（3月1日10時時点　速報値）

療養場所		人数	
市内医療機関	市外医療機関	18人	3人
ホテル入所者		6人	
自宅療養者※調整中含む		200人	
合計		227人	

・報告時点での速報値であり、療養先は日々変わることがあることから、ホームページ公表とは異なる場合があります。

前回報告会（1月６日（金）からの船橋市の動き、私の活動、今後

●2月

３日（金）スクールガード。オンライン「議会報告会」
14日（火）3月議会開会

22日（水）質疑

(24日（金）ロシアのウクライナ侵攻から1年)
28日（火）津田沼パルコ閉店

週1回
スクールガード（登校時児童見守り）

熊谷知事FBより

おはようございます。ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経過しました。ロシアのウクライナからの撤退、ウクライナの復旧復興に向け、国際社会は結束して立ち向かって欲しいと願います。

千葉県ではウクライナからの避難者に対して専門チームを作り、県内に避難されてきた方が安心して滞在することができるよう、国や市町村・民間等と連携し、切れ目のない支援に取り組んでいます。現時点の支援の概要は以下のとおりです。

- ●県内に避難されてきた方の世帯・人数（2月22日時点）
- 61世帯、102人（※県内市町村と連携して把握したもの）
- ----------
- 1.避難されてきた方等への相談対応
- 避難されてきた方、または、避難者の身元引受人からの、日本での避難生活に関する相談に応じます。
- 相談窓口：千葉県国際交流センター
- ----------
- 2.住宅の提供
- 住居として県営住宅を提供し、入居に際し、生活に必要な家具・家電等の提供も行っています。また、県営住宅等に入居するまでの間の一時滞在施設の提供を行います。
- 県営住宅：85戸確保し、うち17戸（17世帯34人）を提供（2月22日現在）
- 家具等：照明器具、ガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機、カーテン、食卓セット、寝具等（12品目）
- ----------
- 3.見舞金の支給
- 避難されてきた方に当座の資金として、1世帯につき10万円の見舞金を支給しています。
- 67世帯合計670万円
- ----------
- 4.翻訳機器の貸与

- 5.教育支援
- 県内市町村において、避難民の児童・生徒を小・中学校で現在、11名受け入れています。
- 県立学校については、避難されてきた方の居住地や学校教育に関する希望を考慮しながら、外国人児童生徒等の受入実績がある学校での受入れを進めていきます。
- また、避難されてきた方の語学力などの状況に応じて、きめ細かな学習支援を行います。
- ----------
- 6.日本語学習の支援
- 地域で生活するために必要な日本語を習得できるよう、市町村と連携して、日本語学習の機会を提供します。
- 日本語教室の開催：1市町村（28回）
- ［参考］県内市町村による日本語教室の開催：5市町村
- また、千葉県国際交流センターで語学ボランティア（ウクライナ語、ロシア語等）も紹介しています。
- ----------
- 7.民間企業、ボランティア等との連携
- 避難されてきた方の生活支援に向けて、市町村、民間企業、ボランティア等との連携を進めます。
- ○在留資格変更手続等の支援：千葉県行政書士会
- ○スマートフォンの無償貸与：ソフトバンク株式会社
- ○食料品の無償提供：We Support（一般社団法人RCF、オイシックス・ラ・大地株式会社、ココネット株式会社）
- 7月8日から開始し、これまで15回実施。今後も継続していただく予定。
- 「WeSupport」が、食品の寄附にご協力いただけるサポート企業と、支援先の各団体とをマッチングさせて、食品支援を行います。支援の拡充・継続に向けて、サポート企業の参加や寄付金の受付をしています。
- ○衣料品の無償提供：QVCジャパン、ファーストリテイリング
- ○避難民同士の交流：お茶しませんかプロジェクト
- ○日用品の無償提供：ライオン株式会社
- 政府は今回のウクライナからの避難者に対して、従来の難民の位置づけではなく受入・支援を行っていますが、既に1年が経過しており、当時の暫定的な措置ではなく、数年以上の生活を前提とした制度構築を行うべきです。

2023年2月28日

津田沼パルコ
開店３年後の様子（1980年４月）
「PARCO」の
ロゴが今より
細い字体でした。
開店当時はB館が
西友でした。
屋上には
「自由の女神」
が見えます。
垂れ幕の本数は
当時も今も
2本です。
駅前北口連絡通路
（ペデストリアンデッキ）が
開通したのは、1987年です。
ルコの手前にあるのは、千葉県が
意した区画整理にともなう周辺の
店舗の「仮設店舗」です。
PARCO
SEIYU
津田沼パルコ 様
45年間
ありがとう
ございました。
市民・客

市長提出議案

❶一人一人が自分らしく輝くまち

●大型冷風機の購入

夏季の熱中症対策として、小・中・特別支援学校および市立船橋高校の体育館や武道室等に大型冷風機を設置します。

●海神中学校校舎の建て替え

老朽化した海神中学校の普通教室棟の建て替えを同校敷地内で実施します。9年度に供用開始するため、5年度は、敷地測量および基本設計を行います。

市立船橋高校ICT環境の整備

GIGAスクール構想を実現するため、市立船橋高校に生徒が使用する学習用タブレットを整備します。

特別支援学級の整備

特別支援学級の児童・生徒の増加に対応するため、二和・古和釜・芝山西小学校および葛飾・湊中学校に特別支援学級（自閉症・情緒障害）を設置します。

障害のある児童・生徒を支援する職員の増員

障害のある子どもが一人一人の状態に応じ、学校で適切な教育的支援を受けられるよう支援員を配置しています。支援が必要な児童・生徒が増加していることから、15人増員し125人配置します。

不登校児童・生徒への支援の充実

峰台小学校内に設置している、不登校児童・生徒を支援する教室「ひまわり」の利用者が増加していることから、古和釜中学校内に新たな教室を6年度に開設するための改修等を行います。

●プラネタリウム館投影機および座席等の更新

開館から35年を迎え設備等が老朽化したことから、投影機および座席等を更新します。

●スポーツ健康都市宣言40周年記念イベント

昭和58年に行った「スポーツ健康都市宣言」40周年を記念し、子どもから大人までスポーツに触れ合えるイベントを開催します。

法典公園の改修工事等

法典公園（グラスポ）の球技場の人工芝張り替え、防球ネット増設および管理棟エレベーター改修工事等を行います。

ふなばし音楽フェスティバル

多くの市民に音楽を楽しむ機会を提供し、文化・芸術による地域の活性化を図るため、市民ボランティアによる実行委員会と行政が協働で開催している「ふなばし音楽フェスティバル」は、千葉県誕生150周年記念事業に合わせて実施内容の充実を図ります。

▲千人の音楽祭

❷住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

産後ケア事業の拡大

出産後に家族等からの支援が十分でなく、心身の疲れなどがある

「　」の実現へ

問 政策企画課☎436-2057

入では、景気や雇用状況が回復傾向にあ
が見込まれるため、地方消費税交付金で
の対応など今後の状況が不透明ですが、
では5年度の主要な事業を、第3次総合

5年度 当初予算案

一般会計	2239億0000万円	(前年度比2.8%減)
特別会計	1092億6300万円	(〃 2.1%増)
企業会計	661億9740万円	(〃 14.2%増)
全会計	3993億6040万円	(〃 1.0%増)

②住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

ふなばし音楽フェスティバル

多くの市民に音楽を楽しむ機会を提供し、文化・芸術による地域の活性化を図るため、市民ボランティアによる実行委員会と行政が協働で開催している「ふなばし音楽フェスティバル」は、千葉県誕生150周年記念事業に合わせて実施内容の充実を図ります。

▲千人の音楽祭

産後ケア事業の拡大

出産後に家族等からの支援が十分でなく、心身の疲れなどがある人を対象に実施している宿泊型・通所型の産後ケアに加え、訪問型の産後ケアを実施します。

●保育支援者の配置に係る費用の一部を補助

保育中の子どもの安全を確保するため、園外活動時の見守りなどを行う保育支援者の配置に係る費用の一部を補助します。

●公立保育園での紙おむつ処分料の無償化

紙おむつの処分に係る保護者の負担軽減や衛生面の不安の解消を図るため、公立保育園での紙おむつ持ち帰りを廃止するとともに、処分料を無償とします。

●ヤングケアラーの支援

ヤングケアラーといわれる、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもたちを支援するため、子どもたちが相談しやすいLINEを使ったSNS相談を開始するとともに、社会福祉士等のコーディネーターを配置し、関係機関と連携しながら子どもたちに寄り添います。また、ヤングケアラーの周知啓発を図るため、関係機関に対する講習会や研修会を実施します。

スクールソーシャルワーカーの配置を拡大

社会福祉の専門的な知識・技術を持つスクールソーシャルワーカーに対する相談件数の増加に対応するため、拠点校に配置するとともに、勤務日数を拡大し、全中学校区に週1回勤務できるようにします。

児童相談所の整備

児童虐待の未然防止から一時保護等の措置、在宅支援までを切れ目なく一貫して市が行うため、8年度の開設に向けて市児童相談所の整備を進めています。5年度は、実施設計を完了し、建設工事に着手します。

▲市児童相談所完成イメージ図

子ども医療扶助対象を高校生まで拡大

保護者の経済的な負担軽減を図るため、子ども医療費助成制度の対象者を5年4月診療分から、高校生の年齢まで拡大します。また、1人の子どもが同じ医療機関を利用する際、月ごとに入院は10日、通院は5回を超えて以降の自己負担額が無料となる「月額上限設定」を、5年8月診療分から導入します。

出産・子育て応援

全ての妊娠している人・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠している人や低年齢期の子育て家庭に寄り添いながら継続して行う相談支援と、妊娠届出時に妊娠している人1人当たり5万円相当、出生届出後に新生児1人当たり5万円相当の経済的支援を一体的に実施します。

●重層的支援体制の整備

支援を必要とする人の複合化・複雑化した課題やニーズに対応するため、包括的な相談支援や、複数の相談窓口による支援の役割等の調整のほか、社会や地域とのつながりを作るための支援などを一体的に行う重層的支援体制を整備します。

●再犯防止推進計画の策定

誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現を目指し、犯罪をした人が再び罪を犯すことなく、地域社会の一員として円滑に社会復帰できるよう、再犯防止推進計画を策定します。

●がん患者の医療用ウィッグ・胸部補整具の購入費を助成

がん患者の精神的・経済的な負担を軽減し、社会生活を支援することを目的に、治療に伴う外見の変化に対応するための医療用ウィッグおよび胸部補整具の購入費を助成します。

町会自治会交付金の増額

市と町会・自治会との連携を図り、住みよい地域社会を形成するため、町会・自治会への交付金を1世帯当たり370円から420円に増額します。

●地区連地域活動に係る費用の一部を補助

広域的な地域活動の活性化を図るため、地区連絡協議会に対し、

ます。5年度は、道路予備設計および国家公務員宿舎二和住宅跡地の建物の解体設計を行います。

市場施設の再整備

「船橋市地方卸売市場経営戦略」で策定した施設再整備計画に基づき、耐震性能が不足する施設から優先的に更新整備を進めています。5年度は、引き続き冷蔵庫棟および関連店舗棟の基本設計・実施設計等を行います。

●ふなばしアンデルセン公園の風車を改修

デンマークの技師に依頼し、風車（メルヘンの丘ゾーン）の回転機構および老朽箇所の改修工事を行います。

▲ふなばしアンデルセン公園の風車

❹快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

廃棄物発電を活用した自己託送の実施

4年度に高瀬下水処理場で開始した、廃棄物発電の余剰電力の送電対象の施設に市役所本庁舎を加えます。これにより、エネルギーの地産地消を図るとともに、その他必要となる残りの電力を再生可能エネルギー100パーセントの電力で調達することで、公共施設の使用電力の脱炭素化に向けた取り組みを進めます。

避難所施設等への再生可能エネルギー設備の導入

事業者との連携により、避難所等の公共施設へ太陽光発電設備と蓄電池の設置を引き続き進めます。設備を設置した施設では、発電した電力を市が買い取り、公共施設で使用する電力の脱炭素化を図るとともに、災害時における公共施設の電力の一部を確保します。

電気自動車購入・V2H設置に係る費用の一部を助成

温室効果ガス排出量の削減、また非常時における自立電源確保のため、4年度から開始した、電気自動車の購入およびV2H（※）の設置に係る費用の一部助成に加え、プラグインハイブリッド自動車および集合住宅向け電気自動車充電設備も助成の対象とします。

（※）電気自動車への充電や電気自動車から住宅への給電を行う機器

●省エネ最適化診断の費用を助成

環境への取り組み強化のため、市内事業者に対し、専門家が実施する省エネ最適化診断に係る費用を助成します。

都市計画道路の整備

道路ネットワークの基幹となる都市計画道路のうち、南本町馬込町線などの用地買収のほか、西船橋駅印内線の踏切道の拡幅および道路改良工事等を行います。

歩道環境の整備

歩行者の安全を確保するため、小栗原架道橋の東側に新たに歩道橋を設置するための工事を引き続き実施します。また、高根公団駅前の鉄道やバス利用者等の乗り換えの円滑化や安全な移動を確保するため、駅前広場の整備に向けた協議を行います。

「ゾーン30プラス」の整備

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を確保するため、一定の区域で車両の最高速度を時速30キロメートルに制限する速度規制と、車両の通行部分を狭くする狭さくなどを用いた速度抑制を組み合わせた「ゾーン30プラス」を中野木地区で整備します。

●JR津田沼駅北口駅前エレベーターの設置に向けた設計の実施

鉄道やバス利用者等の乗り換えの円滑化や安全な移動を確保するため、JR津田沼駅北口のペデストリアンデッキへのエレベーター設置に向けた概略設計を行います。

公園・緑地の整備

市民の皆さんが身近な生活の中で豊かな緑を感じられるよう、二和さつき公園の拡張工事、飯山満土地区画整理地内（仮称）1号公園の実施設計および（仮称）三山8丁目公園等の用地取得を行います。

シェアサイクルのサイクルポート増設

交通の混雑緩和、環境への負荷の低減、市民の健康増進などの効果が期待できる自転車利用を促進するため、4年度から民間事業者と共同で実施しているシェアサイクルのサイクルポートを増設し、事業範囲を拡大します。

❺命と暮らしを守る強靭なまち

下水道の整備（雨水管渠整備）

大雨時における雨水出水を原因

全・安心な通行空間を確保するため、一定の区域で車両の最高速度を時速30キロメートルに制限する速度規制と、車両の通行部分を狭くする狭さくなどを用いた速度抑制を組み合わせた「ゾーン30プラス」を中野木地区で整備します。

●JR津田沼駅北口駅前エレベーターの設置に向けた設計の実施

鉄道やバス利用者等の乗り換えの円滑化や安全な移動を確保するため、JR津田沼駅北口のペデストリアンデッキへのエレベーター設置に向けた概略設計を行います。

公園・緑地の整備

市民の皆さんが身近な生活の中で豊かな緑を感じられるよう、二和さつき公園の拡張工事、飯山満土地区画整理地内（仮称）1号公園の実施設計および（仮称）三山8丁目公園等の用地取得を行います。

シェアサイクルのサイクルポート増設

交通の混雑緩和、環境への負荷の低減、市民の健康増進などの効果が期待できる自転車利用を促進するため、4年度から民間事業者と共同で実施しているシェアサイクルのサイクルポートを増設し、事業範囲を拡大します。

下水道の整備（汚水管渠整備）

生活環境の向上および公共用水域の水質保全、汚水処理の拡充を図るため、日の出・二和東・藤原・馬込地区等で下水道（汚水管）の整備を進めます。

⑤命と暮らしを守る強靭なまち

下水道の整備（雨水管渠整備）

大雨時における雨水出水を原因とした浸水被害を軽減させるため、山手・湊町・西習志野地区等の下水道（雨水管）整備を進めます。

避難行動要支援者への支援

災害時に自力で避難することが難しい避難行動要支援者に対し、実効性の高い避難支援を行えるよう、個別避難計画を順次作成していきます。

避難所へのWi-Fiクラウドルーター整備

全ての宿泊可能避難所で避難者がWi-Fiを利用できるよう、公衆無線LANのない避難所に、Wi-Fiクラウドルーターを整備します。

●消防局庁舎の建て替え

老朽化した消防局庁舎を国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地に移転し、建て替えを実施します。9年度に供用開始するため、5年度は、基本設計および実施設計を行います。

救急隊の増隊

傷病者を迅速に搬送するため配備している、ドクターカーを含めた16隊の救急隊について、年々増加する救急需要に対応するため、6年4月から17隊体制とする準備を進めます。

▲市所有の救急車両

当初予算案の概要の全文がご覧いただけます

市ホームページ（右コード）からご覧ください。

朝倉質疑

西武船橋跡地と周辺の現況

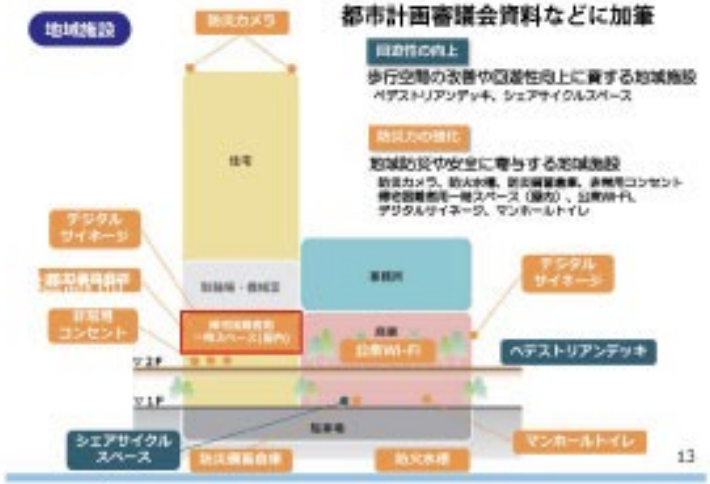
（2023 年 2 月 20 日夜、JR 駅→フェイスのデッキから撮影）

ペデストリアン
デッキ
（2 階）

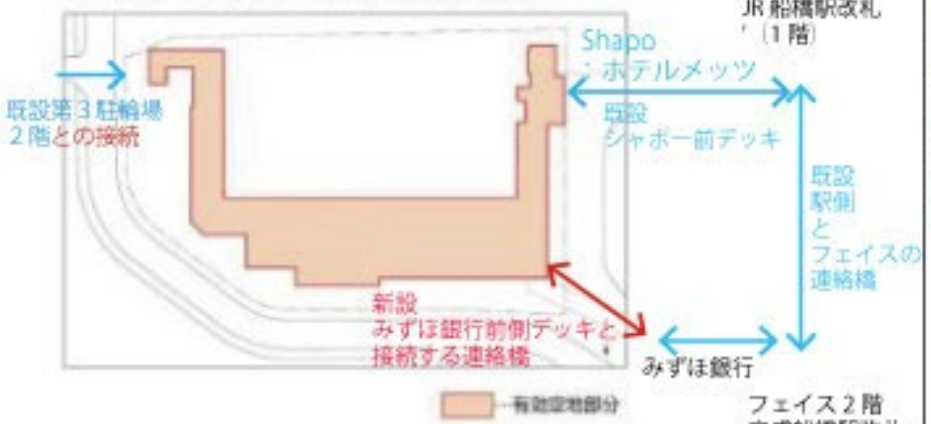
ペデストリアン
デッキ
（2 階）

2023 年 2 月 22 日　朝倉幹晴（市民民主連合）質疑資料

都市計画審議会資料などに加筆



<2階（ペデストリアンデッキと接続する階）>



現在の
国家公務員行田宿舎
跡地
（2023 年 2 月 21 日午前撮影）

現在の
消防指令センター
（湊町）

2023 年 2 月 22 日朝倉幹晴（市民民主連合）質疑資料 2

船橋市の都市公園・都市緑地数推移

船橋市都市計画
マスタープランの表
からグラフ作成

ある提供公園（工事中、湊町 2 丁目）
の、低くて幅広のすべり台

面積増
8ha（80000m²）

面積増
27ha（270000m²）

今後の予定

●３月

3日（金）オンライン議会報告会

4日（土）対面議会報告会

10日（金）建設委員会

11日（土）発達支援児の親たちの懇談会
15日（火）市との話し合い
17日（金）市議会予算決算委員会全体会質疑
①広報ふなばし配布形態　②ゼロカーボンシティ
24日（金）市議会議決、監査質疑
31日（金）　あさくらだより104号完成・県議選告示

●4月

1日（土）　10～20時　勤労市民センターリニューアルオープン
（議会報告会・懇談会）

９日（日）県議選投票　16日（日）市議選告示　23日（日）市議選投票
26日（水）市議選分析

29日（土）塚田街歩き